

# 水稻種子をご購入頂いた農家の皆様へ

この度は、近江米「種もみ」をご購入頂きましてありがとうございます。

購入いただいた種子は、採種農家が細心の注意を払って生産したのですが、令和5年は異常高温や台風など過去に例のない気象条件となり、種もみにもその影響が少なからず出ております。

そのため、「種もみ」をご使用頂く前に以下を必ずご一読ください。

- 1 生産してすぐの種もみには、「休眠」という、一定の間発芽しない特性があり、その程度は品種や生産年の気象条件で異なります。昨年の夏は高温に経過したため、令和5年産種子は「休眠」が深く、齊一に発芽しにくい可能性があります。

このため下記を参考に十分に浸種（水漬け）を行い、鳩胸状に催芽し、鳩胸状になったのを確認してから播種してください。

- ・ 種もみを水に漬ける場合、平均水温（浸種水の最高水温と最低水温の平均）を10～20℃の適温に保ってください。一般には、積算平均温度で100℃（平均水温が15℃の場合7日間）が必要です。催芽して鳩胸状を確認してから播種してください。

- ・ 休眠の深い（比較的深い）品種は

コシヒカリ	みずかがみ	レーク65	日本晴
秋の詩	ゆめおうみ	ハナエチゼン	ひとめぼれ 等

- 2 令和5年産の種もみには、品種によって表面に褐色に変色したものがありません。これは台風7号の強風によって穂がこすれたために発生したものであり、品種の特性や発芽率には問題はありませんので、安心してご使用ください。

- 3 種もみは低温倉庫で貯蔵されており、配付する前に発芽試験を行っておりますので、生産年が「令和4年産」以前のものも安心してご使用ください。

なお、貯蔵中に粃の乾燥がすすむことから、若干減量していますが、種もみの粒数には変化がありませんので、ご理解をお願いします。

- 4 種子袋の保証票は1年間保存してください。

ご不明な点は最寄りのJAまたは県農産普及課にお問い合わせください。

今後も種子更新により、実需者に信頼される、良食味で品質の良い「近江米」を生産しましょう。